



グローバル

NO. 112

こうのす国際交流市民の会

発行責任者 鈴木和子 Tel090-6035-3649
 お問い合わせ Email hisatoshi-mizuta@brown.plala.or.jp
 発行日 2020年 5月18日(月)

新型コロナウイルスの蔓延は色んなところ、人、生活へ大きな影響を与えております。私達の活動も制限を受けてます。総会は通常の形では行えませんし、活動計画も練り直しせざるをえない状況にあります。そんな中寄稿して頂いた外山様大変ありがとうございました。



この活動自粛期間中、皆様は様々な思いで過ごされたのではないかと思います。是非その思いをこの会報グローバルに投稿して頂けませんでしょうか？ 尚、語学クラスも行えず、今号では紹介ページを省きましたことご了承下さい。

ご報告



● こうのす国際交流市民の会 総会

既報の通り、総会は5月16日(土)、市民活動センターで行う予定でありましたが、外出自粛に従い、委任状による総会へと変更しました。その結果、委任状は50通頂戴しました。

会則(総会資料 9ページ)にあります通り、「総会は委任状を含めて会員の過半数の出席をもって成立します。」に従いまして、総会は成立し、総会資料の原案は承認されたものと解釈致します。

1. 運営委員は以下の皆様をお願いします。会員の皆様には、運営委員等を通して、或いは直接グローバルへ、ご意見ご協力を頂ければ大変有難く思います。

(敬称略)

令和2年度 運営委員及び監査委員

	氏名	住所	担当
1	鈴木 和子	鴻巣市緑町	会長
2	臼田千鶴子	緑町	副会長、ボランティア見本市

3	高井 正利	宮前	副会長、企画
4	宗政 伸雄	堤町	会計、初歩のスペイン語クラブ、国際交流フェス
5	越田 端子	宮地	書記
6	向井 信子	広田	書記補助
7	水田 久敏	ひばり野	会報、記念誌
8	須藤 紘治	緑町	総務(渉外)
9	松村 淑子	大間	企画、田間宮センターまつり
10	越智 雅文	大間	スペイン語クラブ、企画、国際交流フェス
11	井上みさ子	人形	日本語クラブ、企画、バーベキューパーティ
12	加賀 紅	宮地	企画、年末パーティー
13	染谷 重美	登戸	企画、バスハイク、年末パーティ
14	小島 弘子	吹上富士見	企画、バーベキューパーティ

会計監査

曾山 徳男	小松	
田上 有三	大間	

2. 会長からのメッセージ

2020年度の総会は異例の形になりました。現在会員は68名で、委任状50通を頂きましたので、過半数を超え、総会成立し、議案は成立とさせていただきます。皆様にご報告申し上げます。有り難うございました。

stay home で生活のスタイルも大分変わったように思います。各クラブではそれぞれ知恵を出し合って、勉強を続けています。こんな時こそ知恵と協力が必要だとつくづく感じます。

本年度の活動はなかなかメドが立ちませんが、20周年の記念誌は発行するつもりですので。皆さん、時間がある今こそ投稿お願い致します。笑顔でお会いできる日はそうと遠くないようです。



みどり坂ガーデンの写真です
花たちは心を癒やしてくれます。

● 会費納入のお願い

新年度が4月1日からスタートします。会費納入のお願いのプリントは総会資料に同封されておりましたが、その案内に沿って納入方よろしくお願ひします。

頂いた会費の使い途については総会資料の予決算資料をご参照下さい。

皆様からの寄稿



最近の我が家

外山真澄

新型コロナウイルスの影響で外出自粛の中、皆さまいかがお過ごしでしょうか。まだ子供の小さい我が家では、この2か月、いろいろなことがありました。

娘は小5と、息子は中2に進級しましたが、学校は3月2日からずっと休校措置が取られたままで、3月初めから家にこもった生活を続けています。休校が突然決まった2月末、学校からの連絡に二人とも「やったあああ！」とそれは喜んでいました。学校から渡された宿題プリントはあるものの、起床、就寝の時間は遅くなくても大丈夫、好きなときに休み時間をとれ、勉強時間はいつもより少なく、おやつもすぐ食べられる。昼寝だってできてしまう。二人にとっては堪えられない生活ですから。

さあ大変、と思ったのは私です。毎年夏休みは3食作ることがとても大変で、毎日どうしよう、と思いながら過ごしているのですが、それと同じことが突然やってきたのですから。

でも、悩んでいてもしょうがない、今まで作ったことがないようなものを作って食べてみよう！と前向きに考えるように。もともと料理は好きなので、作ってみたいレシピを、端から試すことにしました。フライやてんぷら、ピザに餃子(具を変えて)、その他諸々、このところ仕事で忙しく、同じメニューをローテーションさせていたので、家族は喜び、私も2か月たった今でも楽しんで料理しています。子ども達に手伝ってもらえる時間が増えたことも、楽しめている要因かなあ。

食べることで一番変わったのは、娘がお菓子作りに挑戦していることです。いつも私が疲れていて「またの機会にね。」と我慢させていたので、「作ってみたいものをたくさん作ろう！」と言うと、毎日のように一人でレシピを見ながら挑戦するようになりました。スコーン、ケーキサレ、クッキー、パウンドケーキ、ゼリーにプリン、いろいろなものを食べさせてもらいました。下の写真はプリンを作っているところです。



卵と牛乳の濃厚な味わいは手作りならではの味わい。また作ってね！とリクエスト済みです。次はサワークリームを使った冷たいケーキに挑戦するそうです。こちら楽しみです。

ニュースを見ていると、子ども達が家にじっとしてられなくて、というのをよく見かけます。うちの子も達はというと、娘は庭に出て遊んだり、ちょっと自転車で出かけて、ということがあるのですが、息子は買い物に誘っても、「今は外出自粛なんでしょ、外には出ない方がいいんだから家にいるよ。」と言い、ひたすら家にこもっています。中学生ともなると、尋常ではない量の宿題が出ている(本人曰く)ので、親が思っているより自由にできる時間がないのかもしれませんが、部活がないので運動する時間も減り、日にも当たらない、、、大丈夫かしら、、、？

休校になった当初、私は勉強が遅れたら、とか、宿題はやってもらわないと困る、とばかりにいろいろと口出しをしていました。でも2か月たった今、できるだけ自分のことは自分で考えて一日を過ごさせるようにしています。最近の小中学生は、私が子供の頃より忙しい生活をしている気がしていたので、今は、二人にとってのんびり自分の時間を過ごせる貴重な時なのかもしれない。勉強も大事だけれど、この自由な時間のある時にできること、やりたいことを見つけて挑戦する、その方が大事なのかなあ、と時間が経つにつれ思うようになったから。でももう少し時間が経ったら、また気持ちは変わるかもしれません。4月24日に学校休校が再々度延長され、鴻巣市は5月も20日までは確実に休校になり、世の中では9月入学まで話題となってきている、我が家も先の見えない毎日がまだまだ続きます。

先の見えないと言えば、マスクや消毒液など。店頭で見かけることがほとんどなくなっていますが、先日から私はマスクの手作りを始めました。2月初め、いつも通っているドラッグストアからマスクが消えたのを見て、手作りするときが来るかもしれない、とガーゼやらマスクのゴムやら買い置きをしておいたので、インターネットで色々調べ、作りやすそうな、そして顔にフィットする形の良さそうな作り方で作ってみました。試作品は作る手順を確認するために、手縫いで作ってみました。どうでしょうか？



マスクも安く自由に手に入る日が早く来ることを願いながら、そして前のように自由な生活が一日も早く訪れることを願いながら、心も体も健康に毎日を過ごしたいと思います。

お国紹介；ドイツ

水田久敏

5月になって、新緑が太陽に映え、色んな花が咲き始めたりして、何故かムズムズする人もいらっしゃるのではないかと想像しております。美しき5月です！



私は、この季節になると思い起こすのは、ああホワイトアスパラと白ワインの時期だなあです。これをもう一度味わいたくて、三年程前に当時の駐在仲間達とドイツのアルザス地方を再訪して来ました。ドイツ語でシュパーゲル（Spargel）です。ハムやソーセージと組み合わせ、バターを溶かしたホランディッシュソースをかけて食べます。ドイツ産を味わえるのはイースター明け（4月）から

6月下旬までです。新葉を出しつつある緑のぶどう畑を眺めながら、小さなホテルのレストランの道路沿いのテーブルでワインを味わいながらシュパーゲルを食べ、至福の時間を過ごしました。今、外出自粛のさ中、ドイツ人は、それでもシュパーゲルを楽しんでいるのかなあと思いを馳せています。

現時点では、状況的には厳しいですが、これからドイツへ行かれる機会のある方の参考になればと、私流にドイツを紹介させて頂きたいと思います。20年程前の記憶に基づいておりますし、違う！と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、ご容赦下さい。

1. ドイツ人はお祭り好きです。明るい笑顔の人が結構多い。

1年間を通して、いつもどこかで何かお祭りをやっているという印象です。

冒頭紹介したホワイトアスパラの季節の前にイースターがあります。ケルン市の祭りが有名です。緯度的には北海道から樺太と同程度であり、冬は長く、暗く、寒いです。イースターで待ちわびた春が来ると感じ、お祝いし、一年中で一番楽しい季節が巡って来ます。その年、最初の自然からの恵みがシュパーゲルなのでしょう。

7月頃からは各地で前年収穫したブドウから獲れたワインの祭りが始まり、街道沿いに試飲して回ったこともありました。祭りの村辺りでは酒酔い運転に対して、取り締まりは多少甘めだった印象ですが、今は違うかも知れません。その後有名な祭りでは秋のオクトーバーフェストです。そして冬は年末のクリスマスマルクトが各都市・村の中心広場で賑わいます。グリユネワイン（赤ホットワイン）で体を暖めながら来るべき新年に思いを馳せます。

2. 街や自然の景観を大切にし、キレイ好きです。

町の中心部の建物の修復時、建物の所有主は役所から許可を得、原外観を維持せねばならないそうです。その為の補助金も出るそうです。通りに幟（旗）を掲げることは禁止。電柱は景観を害するということではありません。住宅街の通りはゴミが少ないです。ゴミ廃棄の大きい黒いプラスチック製ボックス（車輪付き）が各アパートの近くに置いてあり、分別廃棄・収集のシステムが整備されています。収集は専用トラッ

クで行われます。また垣根、芝生や庭木の手入れにはうるさい様です。隣の人から、芝生を刈りなさいと注意された日本人もいた聞きました。

3. 動物を大切にしています。犬と一緒に散歩している老人を良く見ます。

犬は家族として遇されていて、居間で寝起きする様です。首輪をつけると虐待とみなされるそうです。人に向かって吠えるのは飼い主の躰がなってないとみなされます。散歩でも無論放し飼いです。散歩道を外れて脇側の草地に入ると犬の糞を踏んでしまうこともあるので要注意です。糞の後始末は飼い主はやらなくて良い様で、日本とは常識が異なります。

4. 交通インフラが整ってます。

アウトバーン；都市部を結ぶ自動車専用道ですが、原則スピード制限なしです。徐々に制限スピードのあるエリアが増えて来ました。ラジオの交通情報で“□—○間、渋滞、走行スピード80km”と放送されていたのには、最初は驚かされました。運転マナーは素晴らしいと思いました。スピードが遅い車は一番右のレーンを走り、追い越す時のみ左レーン、後ろから速い車が近づいてくるとレーンを空けます。トラックは登り坂では必ず最右側のレーンを走ります。このマナーが徹底されてます。

街中の一般道路では車より、歩行者、路面電車、自転車が優先されます。横断歩道で人が渡っていると停止せねばなりません。停止しないで通り過ぎると手を挙げたり、キックの恰好をしたりして怒ります。街中の通りには駐車可能な道路がありますが、縦列駐車テクニックが必要です。出来なければ、有料駐車場へ。街中に何か所かあって、入り口で空き具合を確認できます。東京の様に高くないですし、24時間利用可能です。

鉄道；長距離（IC=Inter City、ICE）、中距離（Sバーン）、地下鉄（Uバーン）、路面電電車（シュトラークセンバーン）があり、特に路面電車は市内にチョット出かけるには便利です。改札口はなく、自由に乗れます。但し車内改札があり、乗客だと思っていた人が突然立ち上がり検札を始めます。切符を所持してないと罰金です。また特急のICEなどは発車ベルが鳴りません。ホームで悠々と話したりしてると突然動き始めて慌てた経験があります。

5. 食事は意外においしい。

確かに美食の国ではありません。じゃが芋とソーセージの国というのには同感です。冒頭に述べた、ソーセージは沢山種類があり、全ておいしいと思いました。焼くソーセージは路上でパンに挟んで食べたりもしています。煮る白ソーセージは、皮をはがすのに苦労します。私が大好きだったのはニュルンベルガーソーセージ。



ニュルンベルガーソーセージ。

日本のウイナーソーセージを少し大きくした様なサイズ。ビールに良く合います。

他に代表的な料理としては；シュニッツェル（牛カツ？）、アイスバイン、シュバイネハクセ等々。

結論的にドイツ料理は塩・胡椒+酢の味付け

が殆どですが、これがイケる！。

6. 飲み物もいける。ご承知の通り、ドイツはビール天国です。色んな種類があり、各地方にローカルブランドがあり色んなビールが味わえます。Pilsner(ピルス)、Weizen(ヴァイツェン白生ビール)、Helles(ヘレス)、ラガー(日本のビールに近いが苦味が強い)、ドゥンケル(黒ビール) etc.

ワインも結構イケます。ラインガウ、ラインヘッセン、モーゼル、フランケン、プファルツ。白ワイン主体ですが、ぶどうの種類、摘む時期とかで区別したりして、解説するのも好きです。糖度の高いアウスレーゼや価格も高いアイスヴアイン等。珍しいところでアプフェルワイン(リンゴワイン)もあります。スピリッツで、キルシュバッサ(桜酒)という強い酒には要注意！！

水はガス入りが一般的。最初は違和感を持ってましたが、慣れるとガス入りの方がおいしい。ビール並みの値段で、日本の恵まれた環境に感謝。

7. 音楽と文芸の国：

学校で習ったクラシック曲の作曲家達は多くがドイツ人(バッハ、ベートベン、ブラームス、メンデルスゾーン、ワーグナー、ヘンデル等々)、文学ではゲーテやグリム兄弟等々。ドイツで聴くクラシック曲は何故かじっくりしたのを覚えてます。

8. スポーツの国：



何といてもサッカーが盛んですね。ブンデスリーガは1部、2部それぞれ18チームあり、都市・地域と強く結びついていると思いました。私の居た当時、地元のフランクフルトは弱くて、1部と2部を行ったり来たりしていました。毎朝TVのモーニングショー的な番組では地元のサッカーチームの監督、コーチがゲストで生出演してました。サッカーの前日の結果をレビューする合間にニュースが流されるという感じでした。意外にも卓球が盛んでした。F1レースも人気あります。

9. 田舎の都市国家：

国名はドイツ連邦共和国 (Bundesrepublik Deutschland BRD)、英語名はFederal Republic of Germany (FRG)です。ゲルマニア地方に住む人達(Deutsch)の国と解した方が理解し易い様です。ドイツ語表記は、古ゲルマン語の民衆という意味の言葉から Deutsch→Deutschland となった様です。

面積、人口、GDP 共に日本の8割程度の国なのですが、生活はドイツの方が豊かだなあと感じます。特に田舎の生活は余裕を感じました。畑で農作業をしている姿を見ることは非常に少なかったです。

16州から成る連邦共和国で、現在のドイツの姿になったのは、ベルリンの壁崩壊後再統一された1990年です。意外なことに人口100万以上の都市は4つ(ベルリン、ハンブルグ、ミュンヘン、ケルン)



しかありません。フランクフルトは70万人で、デュッセルドルフは60万人台です。心地良いサイズだと思います。但し、隣り合った10万~20万の都市がいくつかあって、感覚的には100万都市を感じさせます。世界的に有名な企業・ブランドが多数ありますね。自動車ではベンツ、BMW、アウディ、フォルクスワーゲン、ポルシェ、電機ではシーメンス、ボッシュ、化学でバイエル、BASFなど多数ありますね。それら企業は、日本の様に本社が東京に集中してなくて、色んな都市に分散されていますね。ドイツはやはり田舎の雰囲気を持った国だとつくづく実感する時がありました。

語学クラスの紹介



★日本語クラブ

授業：金曜日（第5週目は休み）

午後：7時~9時

場所：中央公民館（鴻巣中学校前）

鴻巣駅から徒歩7分

会費：無料

**ボランティア先生募集、一緒に楽しみましょ
う！**

連絡先：鈴木和子 ☎09060353649

臼田千鶴子 ☎08066381318

★スペイン語クラブ

授業：原則として

第1, 3土曜日 午後2時~3:45

講師：リリアナさん（コロンビア出身）

場所：中央公民館

会費：月額 1,000円

連絡先：田上有三（代表） 080-1317-5579

学習日 休講中です。6月再開予定。

スペイン語をみんなで仲良く勉強して、視野を広げ、これからの人生に役立てましょう。

みなさんの参加をお待ちしています。

★こども日本語教室「りぼん」

授業：土曜日（第5週目は休み）

午後 1時30分~3時30分

場所：市民活動センター

（鴻巣駅前 アスリエビル 3F）

会費：無料

連絡先：鈴木和子090-6035-3649

★初歩のスペイン語クラブ

授業：原則 第2,4日曜日 10:00~11:30AM

現在休講中です。6月再開予定です。

講師：リリアナさん（コロンビア出身）

場所：田間宮学習センター

会費：月額 2,000円

連絡先：赤井純子

（代表）080-5188-4674

★編集後記

水田 久敏

シーボルト：

聞いたことのある名前かと思います。幕末、蛮社の獄の遠因となるスパイ事件を引き起こしたシーボルトはドイツ人です。オランダ商館付き医者として来日し、本人も日本ではオランダ人と称して居た為、オランダ人と間違われます。

植物学者で、日本から追放され帰国後、日本のアジサイを新種として、学名登録申請の際に、日本人妻の名前“楠本おたき”から取って、Hydrangea Otaksaとしたと言われます。愛してたのですね。長崎の土産にあるお菓子「オタクサ」はこれに由来するみたいです。

「おたき」との娘“おいね”は日本最初の最初の女性産婦人科医で、“オランダおいね”と呼ばれて、TVのドラマにもなりました。ドイツに関連してエピソードを紹介します。ドイツは旧くから日本に影響を与えてきた国の一つでしょう。